

相良村立相良南小学校



# 学校だより



校訓：やさしく かしこく たくましく

## 1月号

令和5年1月31日(月)  
発行者 校長 立道一則

児童数：165  
PTA会員世帯数：121

## 3学期（令和5年度の0学期）がスタート！！

3学期が始まりました。1月10日の始業式は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、WEB会議システム(Zoom)を使って行いました。

まず、2年生と4年生の代表者がパソコンのカメラに向かって3学期の抱負などを発表しました。そのほかの子どもたちは、各教室で電子黒板(大型モニター)に映し出された児童の発表を真剣に聞いたようです。

私からは、次の3つのことについて話をしました。

### ①感染対策について

- ・自分のため、家族や友達の健康を守るため、マスクの着用、手洗い、換気などを確実に行いましょう。新型コロナウイルス感染症ばかりでなくインフルエンザにも十分気を付けるためにもできるだけことはしましょう。

### ②準備することについて

- ・3学期は、学年のまとめの時期でもありますが、次の学年(学校)に向けた準備の時期でもあります。心(気持ち)の準備、学習の準備(当該学年のまとめ)をしていきましょう。

### ③早起きについて

- ・1日をスムーズにスタートするために、早起きを頑張りましょう。寒い日が続きますが、自分で決めた時刻に頑張っておきるようにしましょう。

明日から2月に入りますが、残りの3学期がより充実した学校生活になるよう、上記のことを再度確認させ促していきたいと思っております。



## 自分を成長させるために！（1/24:全校集会）

今月の全校集会も感染症等の状況を考慮してWEB会議システムを利用して行いました。校長講話では、桜の話为例に、以下のような話をしました。



桜の写真を見てももらいました。熊本では、3月の終わりごろから4月の初めごろにかけて咲き乱れます。桜が好きな人はたくさんいます。きれいで美しいからでしょう。人々の注目を集め、見る人の心も動かし、魅了します。

さて、桜が美しい花を咲かせるために必要なものは何でしょうか。水、太陽の光、肥料などいろいろ考えられますね。どれも間違いではないと思いますが、桜が美しい花を咲かせるために必要なもの、それは、「寒さ」だそうです。桜は植物で

すが、厳しい寒さは、桜にとってもつらいものだと思います。ですが、桜は、一定期間寒さにさらされないときれいで美しい花は咲かせないそうです。違った見方をすると、今桜は、冬の厳しい寒さの中で寒さに耐えながら美しく咲く力を蓄えているとも言えますね。暖かい日が続く冬よりも

寒さの厳しい冬を過ごした桜の方が、より美しい花を咲かせるのです。

このことは、我々人間にも同じことが言えるのではないのでしょうか。辛いこと悲しいこと苦勞したことを経験したことがある人は、それを乗り越える中で、少しずつ強くなっていきます。そして優しく・遅しくなっている人が多いと思います。

今勉強していることで、難しいことや分からないこと、やりたくないこともあることでしょう。でも、一生懸命努力して分からないことが分かったとき、できないことができた時、やりたくないことでもやり遂げた時はとてもうれしいし、自信もつき、前の自分よりもきっと成長していることでしょう。

上手くいかない時、困難な時は成長しているときです。今は、冬の寒い日が続きますが、やがて冬は終わり、必ず春になります。今は耐える時、頑張るときです。桜が美しい花を咲かせるようにわれわれ人間も春には「前の自分より成長した」と自信を持って思えるように、今、頑張らしましょう。

桜は植物なので、自然の寒さから逃れることはできません。美しい桜の花が咲いたとき、厳しい冬のことを思い出してみるのもいいのかもしれないね。あの時があったから、今がある…。

## 2月の予定 (今後の状況によっては変更になることもあります。)

- 2月 3日 (金) : フリー参観 薬物乱用防止教室 (6年)
- 2月 6日 (月) : 性教育旬間 (~17日) 体重測定 week 委員会活動
- 2月10日 (金) : 性教育講演会 (5・6年)
- 2月13日 (月) : トライ week
- 2月14日 (火) 知能検査
- 2月21日 (火) 全校体育 新入児体験入学
- 2月24日 (金) しおりコンクール結果発表



【学校ホームページQRコード】



2月の生活目標:

「手洗い、うがいを心がけよう」

毎週木曜日、相良村は

「メディアコントロールデー」

## 「健康教育推進校」としての取組紹介⑨ 学校ホームページから

1月の身体計測の時に保健指導を行いました。「食べ物の旅」と「体にとって良い栄養をとれるのはどんなときか」「今必要な栄養」について養護教諭と栄養教諭からお話ししました。

人は食べる時にたくさんの感覚器官を働かせます。「目」で見て「鼻」で香りをかぎ、「歯」「口」で歯触りを確かめ、味わいます。「また食べたい。」「おいしい」「楽しい」という気持ちで食欲をそそり、体にとって良い栄養となっていきます。そのため、給食では「みんなにおいしく食べてもらう工夫」をしていることや成長期の子どもにとってどんな栄養が必要か、その栄養はどのような働きをしているのか、栄養教諭から話してもらいました。



その後、「給食でおいしく楽しく食べるためのトライ目標」を各学年で決めました。感染予防に努めながらの会食ですので、制約はありますが、中でも工夫して「楽しい給食の時間」になればと思います。

\* 「1日をかけて食べ物は体を通っていく」と話すと、1年生が「食べ物の持久走大会だね。」その素敵な発想に思わず拍手し、みんなで感動しました。